

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

町民の皆様方におかれましては、町議会の活動に対し、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、議員一同、衷心より感謝をいたしております。

昨年を顧みますと、5月8日に、新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられ、3年もの長きにわたって停滞していた本町の地域活動や経済活動は、徐々に回復しつつあります。

しかしながら一方で、原油価格の高騰による影響は、電気料金やガソリン価格だけに限らず、これは製品価格にも転嫁されるため、家計への負担は大きくなり、総務省の調査によると、家計の消費支出に占める食料費の割合とされるエンゲル係数が、月当たり30%近くにもなり、43年ぶりの高い水準となりました。

私たちは国に対し、地域経済を守るための対策、そして中山間地域や離島の生活環境の維持と確保などを求めていく必要があります。

このような時代の変化に的確に対応していくためには、議会に多様な人材が参画し、広い見地から地域社会のあり方を議論することが期待され、**将来の議会を見据えると、女性や若者、志を抱く誰もが、議員として活躍できる環境を整えるよう、積極的に取り組むことが必要**となります。

福祉・医療の充実、教育・子育て政策、デジタル社会・脱炭素社会の推進、防災・減災事業など、自律的で持続的な地域をつくるために、真の地方創生に向けた取り組みを進め、私たち議員は、増大する役割に迅速かつ的確に対応し、他の範とするにふさわしい者でなければなりません。



周防大島町議会
議長 荒川 政義



とりわけ、少子化問題と人口の流出は、高齡化の進展とあいまって、本町の地域社会を維持存続する上で、非常に深刻な問題であり、仕事と子育ての両立など、多方面から施策を施し、将来を支える子ども達を地域が一体となって育み、それを食い止めなければなりません。

これらの課題を解決するための手段に、デジタル社会の実現が期待されるところです。

光ファイバーやローカル5Gといった情報通信基盤は、社会生活や経済活動にとって欠かすことのできない社会インフラとなっているため、**我が周防大島町は、全国の町村に先んじ、新たな時代にふさわしい高度情報通信ネットワークの環境整備に着手**をいたしました。

私ども周防大島町議会議員は、町民の皆様方のご理解と信頼の向上に一層取り組み、ご期待に沿えられるよう、誠心誠意、努力いたす所存でございます。

皆様方にとりまして、本年が幸せ多き一年となりますようご祈念を申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

